

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和7年度）【総括表】

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容(重点取組項目以外の取組みも含む)
	項目数	達成状況		
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	11	◎	6	－ ○公民館や高齢者施設、各町内自治会館等を活用し、いきいきサロン、子育てサロン、ふれあい食事サービス、地域カフェなど、多様な居場所づくりを進めました。 ○シニアリーダー体操の開始や散歩クラブ、福祉講座の開催、定期的なラジオ体操の実施を通じて、地域住民の健康づくりや介護予防の普及・啓発を推進しました。。
		○	5	
		△	0	
		×	0	
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	30	◎	15	－ ○登下校時のあいさつ運動やあいさつ標語の募集・展示などを通じ、住民同士の顔なじみの関係づくりを進めました。 ○夏祭りや敬老会、多世代交流フェスティバル等の開催のほか、ゴミ出し・軽作業支援、買い物支援「ドライブサロン」の運行、あんしんカードの配布など、地域の実情に応じた支え合い活動を推進しました。 ○広報紙の発行による情報発信や、中学校と連携したボランティア養成講座を実施しました。
		○	15	
		△	0	
		×	0	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	8	◎	2	－ ○町内自治会や避難所運営委員会と連携し、地域の実情に応じた防災・避難訓練や避難所開設訓練を実施するとともに、マンホールトイレの組立など実践的な訓練を行いました。 ○市防災対策課等による防災講座の開催や、要配慮者の受入れに関するマニュアルの作成を進めました。 ○防犯パトロールや防犯ステッカーの掲示・更新など、安全・安心な地域づくりに取り組みました。
		○	6	
		△	0	
		×	0	
		◎		－
		○		
		△		
		×		
今年度の振り返り	49	◎	23	－ 令和7年度は、各地区部会が地域の実情に応じた主体的な活動を展開しました。重点取組項目として選定された49項目については、目標以上（◎）が23項目、概ね達成（○）が26項目となり、各地区において着実に取組が進められました。具体的には、多様な居場所づくりや多世代交流、支え合い活動、防災・防犯活動など、地域特性を生かした取組が各地区で実施されました。一方で、すべての基本方針に共通する課題として、担い手の高齢化や慢性的な人材不足が挙げられました。各地区部会では、地域課題を踏まえ、関係団体等との連携や情報発信の充実などにより、新たな担い手の確保や地域活動への参加促進に取り組んでいくこととしています。
		○	26	
		△	0	
		×	0	

今後の課題と方針	【今後の課題】 ＜担い手の高齢化・人材不足＞サロンや見守り、防災活動を支える役員やボランティアの高齢化が進んでおり、活動を継続していくため、次世代の担い手や新たな協力者の確保・育成が課題となっている。 ＜活動・参加者の固定化＞ サロン等の活動内容や参加者が固定化する傾向がみられ、新規住民や子育て世代、若い世代の参加促進や活動内容の充実が課題となっている。 ＜地域のつながりの希薄化＞ 地域のつながりの希薄化が進む中、見守り活動や要配慮者への支援、防災活動への参加促進など、地域住民がつながりを持ち、支え合える関係づくりが課題となっている。 【今後の方針及び予定】 ＜情報発信の充実による担い手確保＞ ホームページ等も活用した情報発信を進め、地域活動の魅力を広く発信し、新たな担い手や参加者の確保につなげる。 ＜関係団体・学校との連携による多世代交流の推進＞ 町内自治会や関係機関、学校等との連携を深め、多世代交流や学生ボランティアの参加促進などを通じて、地域活動の担い手づくりを進める。 ＜参加しやすい環境づくりと活動内容の充実＞ 地域の実情やニーズを踏まえ、活動内容や開催方法を工夫し、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加しやすい活動を推進する。
----------	--

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	令和7年6月30日（月）	(1) 稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長（1名）の選出について (2) 令和6年度稲毛区推進計画の推進状況について (3) 稲毛区支え合いのまち推進協だよりNo.32について
第2回	令和8年2月27日（金）	(1) 稲毛区支え合いのまち推進協議会副委員長の選出について (2) 令和7年度稲毛区推進計画の進捗状況について (3) 次期地域福祉計画における支え合いのまち推進協議会について (4) 地域活性化支援事業補助金交付団体による発表及び質疑応答

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第32号	令和7年10月1日	発行部数：6,700部 主な配布先：町内自治会、図書館、公民館、コミュニティーセンター（市民センター）、あんしんケアセンター、いきいきプラザ（センター）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

＜基本方針2＞互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり
③ あいさつから始まる地域との関わり / ④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み
【小中台東地区部会・小中台西地区部会】

10月26日、小中台東・西地区部会が合同で開催した「小中台東西社協まつり」は、地域団体が連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流する機会となりました。近隣小学生を対象とした「あいさつ標語」の募集、優秀作品は小中台公民館にて一定期間展示されました。また、西地区部会内では、掲示板へのあいさつステッカー掲示など日常的な啓発も進められています。あいさつをきっかけに地域への関心や親しみを育むとともに、多世代が交流し、互いを知り支え合う地域づくりにつながる取組となっています。

＜基本方針3＞災害などに備えた安全・安心なまちづくり
⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施【301（作草部・天台）地区部会】

7月に市防災対策課を講師に招いた「防災講座」を開催したほか、11月9日には都賀小学校、都賀中学校、都賀公民館、千草台東小学校の4会場で避難所開設訓練を同時に実施しました。地区部会が中心となり、町内自治会や避難所運営委員会をはじめとする関係団体との連携や情報共有を進めながら、防災講座や実践的な訓練を継続的に実施しています。地域の関係機関が一体となった防災体制の構築を図ることと、地域全体で災害に備える取組を推進しています。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定
				目標又は予定	実績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
小中台東地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 12か所 ・開催予定数 198回 ＜福祉講座＞（通年） ・開催予定数 9回	＜いきいきサロン＞ ・実施箇所数 13か所 ・実施回数 154回 ・参加者数 1,707人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外を含む ＜福祉講座＞ ・実施回数 11回 ・参加者数 210人（延べ）	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○連携団体の呼びかけにより、サロンへの参加者が増加した。 ○新規サロンの参加者は増加傾向にある。	◎	【課 題】 ○開催内容が単調になっている。 ○高齢化の進行により担い手が不足している。 【対応策】 ○開催内容を充実させるため、他エリアの情報収集を行う。 ○担い手確保に向け地域へ働きかけを行う。	【方 針】 ○地域住民のニーズの発見に努め、連携団体と協力しながら活動に取り組みます。 【目標又は予定】 ＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 13か所 ・予定回数 198回 ＜福祉講座＞（通年） ・予定回数 11回 ・開催内容 介護・認知症予防等
＜人口・世帯数＞										
20,363人／9,991世帯										
＜町内自治会数＞										
34町内自治会										
＜高齢化率＞										
35.8%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	③ あいさつから始まる地域との関わり	○通学路や防犯パトロール、イベント等を通じ、住民同士のあいさつ運動の浸透に努めます。 ○小学校の登下校時のあいさつ運動（通年） 小中台小、園生小、柏台小、小中台南小、西小中台小 ○あいさつ標語の募集及び展示（9月～11月）	○登下校時のあいさつ運動の実施。（通年） ○小中台東西社協まつり（10/26）において、あいさつ標語、優秀作品の展示 ※小中台公民館にて一定期間展示	・町内自治会 ・地区民児協 ・小学校（PTA） ・青少年育成委員会 ・セーフティーウォッチャー	○子どもたちが、積極的にあいさつしてくるなど、あいさつ運動への意識が高まってきている。 ○大人の意識が低いように感じる。	◎	【課 題】 ○学区が入り組んでいるため、地域の繋がりが薄い。 【対応策】 ○広報紙や自治会の掲示板を通じて周知を図る。	【方 針】 ○登下校時の声掛けや地域イベント、広報紙等を通じて、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組みます。 【目標又は予定】 ○登下校時の通学路や防犯パトロールでの声掛け。（通年） ○あいさつ標語の募集及び展示（9月～11月）
○稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 ○集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。 ○近年、新規転入者が増加していることから、自治会への加入率が低下している。										
活動事業名										
いきいきサロン										
子育てサロン										
散歩クラブ										
ふれあい食事										
広報紙発行										
V講座										
見守り活動										
支え合い活動										
			⑥ 地域における見守り・支え合い	○一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけやあんしんカードの配布、いきいきサロン、ふれあい食事サービスの参加者・利用者へ、安否確認等による見守り活動に取り組みます。 ○独居・高齢者世帯に留まらず、地域内で情報を共有しながら、見守りが必要とされる方に対し、一部の町内自治会において、地域の実情に沿った活動に取り組みました。 ○民生委員がエリア全体であんしんカードを配布。	○地域イベント開催時に、近隣の中学生を対象としたボランティア養成講座を開催。（8月・9月） ＜参加者数＞ （8月）小中台中学校 : 21名 朝日ヶ丘中学校 : 3名 （9月）小中台中学校 : 15名	・町内自治会 ・地区民児協	○連携団体との協力体制がスムーズに図れた。 ○お弁当を対象者の自宅へ配達した際、個人差はあるが、出てくるまでに時間がかかる。	◎	【課 題】 ○現状のあんしんカード（A4判）は確認ができにくいため、改良を行う必要がある。 【対応策】 ○携帯用のあんしんカードを作成し、対象者へ配布する。	【方 針】 ○住み慣れた地域で安心して暮らすために、見守り活動が必要とされる方への支援ができる地域づくりに取り組む。 【目標又は予定】 ○前年度同様、継続して活動を行います。
			⑧ 地域での福祉教育の普及・啓発	○福祉講座の企画や、近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、地域イベントにおいてボランティア活動の実践を通じて福祉教育に取り組みます。 ○地域イベント開催時に、近隣の中・小学生を対象としたボランティア養成講座を開催。（8月・9月） ＜参加者数＞ （8月）小中台中学校 : 21名 朝日ヶ丘中学校 : 3名 （9月）小中台中学校 : 15名	・町内自治会 ・地区民児協 ・小・中学校	○講座に参加し、地域の実情を把握することにより、ボランティアへの意識が高まった。	◎	【課 題】 ○地域内の共通認識が図れていないため、活動実施に向け協議を行う必要がある。 【対応策】 ○地域内の情報共有と併せ、引き続き近隣の学校へ働きかけを行う。	【方 針】 ○福祉への関心を高めるため、福祉講座やイベントでのボランティア活動を通じて意識の向上を図ります。 【目標又は予定】 ・サマーフェスタ（8月） 小中台地域福祉交流館	
	⑨ 地域の情報の収集と発信	○連携する団体の会議等へ参加し、情報共有を行い、地域住民に対し広報紙等により地域住民に対して有益な情報の発信に取り組みます。 ・広報紙の発行 発行月 4月・8月・1月 ・地区部会役員会 毎月第4土曜日（12月を除く） ・町内自治会との情報交換会 開催月 7月・10月	・広報紙の発行 3回（4月・9月・1月） ・地区部会役員会の開催 12回（毎月1回 第4土曜日） ・町内自治会との情報交換会 2回（7月・11月）	・町内自治会 ・地区民児協 ・行政	○年間を通じて予定通りに情報の共有、発信に取り組めた。	◎	【課 題】 ○町内自治会長が1年で交代する場合が多く、全員が揃わないため、周知を行う必要がある。 【対応策】 ○民生委員の協力を得て、地区部会活動の周知を町内自治会へ行う。	【方 針】 ○連携団体と情報を共有し、広報紙等を通じて地域に向け情報発信を行います。 【目標又は予定】 ○広報紙の発行 発行月 4月・11月 ○地区部会役員会 毎月第4土曜日 ○町内自治会との情報交換会 開催月 7月・10月		

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
山王地区部会	2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	③ あいさつから 始まる地域 との関わり	○登校時の通学路や防犯パトロール を通じて住民同士のあいさつ運動の 浸透に努めます。	○小学校のセーフティーウォッ チャーが登校時の声掛けによる あいさつ運動を実施。	・町内自治会 ・青少年育成委員会 ・学校	○防犯パトロール隊、セー フティーウォッチャーの協力の もと、あいさつ声かけ運動は概 ね順調に進んでいる。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。	【方 針】 ○連携団体と協力し、住民同士のあいさつ 運動の浸透に努めます。
				○登校時のあいさつ運動の実施。	○防犯パトロール時にあいさつ 運動を実施。				【対応策】 ○町内自治会、学校等へ協力 依頼を行う。	
		○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	○連携団体主催のイベント等に協力 し、幅広い世代が参加交流できる場 づくりに取り組みます。	○町内自治会主催の行事への協力。	・町内自治会 ・学校 ・幼稚園・保育園 ・公民館 ・施設（高齢者・障害者）	○地域のイベントは子供か ら高齢者まで多くの方が参加 し、盛況だった。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。	【方 針】 ○連携団体と開催内容等について協議を行 い、幅広い世代が参加・交流できる場づく りに取り組みます。
				・夏祭りへの協力 ・敬老会への協力 ・連携団体主催のイベント協力	・夏祭り（8月） ・敬老会（9月） ・連携団体が主催のイベント協力及 び参加（通年）				【対応策】 ○幅広い世代が参加し交流できるよ う、町内自治会、学校等へイベント の開催に向けて働きかけを行う。	
		○	⑤ 地域で活動して いる人・組織同 士の連携・協力	○イベントや地域活動の際に情報共 有を行い、協力体制の構築に努めます。	○町内自治会主催の行事への協力。	・町内自治会 ・地区民児協	○イベントや会議を通じて 情報共有ができた。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。	【方 針】 ○連携団体が実施する会議等へ参加し、情 報共有を図りながら連携・協力体制の構築 に努めます。
				○連携団体主催のイベントや会議へ の参加・協力	・夏祭り（8月） ・敬老会（9月）				【対応策】 ○町内自治会、学校等へ協力依頼を 行う。	
					○連携団体が主催のイベント協力及 び参加（通年）					
					○町内自治会、連携団体等が主催の 会議へ参加（通年）					
		○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い	○一人暮らし高齢者を対象とした、 訪問や防犯パトロールを活用した、 見守り活動。（通年）	○一部の町内自治会において、一人 暮らし高齢者等に対して安否確認等 による見守り活動。	・町内自治会 ・施設 ・地区民児協	○買い物支援を通じて、参 加者同士の交流や外出機会の創 出が図れた。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。	【方 針】 ○見守りや生活支援が必要な高齢者 等に対し、連携団体と協力しながら、活動 に取り組みます。
				○買い物物が困難なひとり暮らし高齢 者を対象とした買い物支援サービス「ド ライブサロン」の実施。	○一人暮らし等の高齢者を対象とし て、民生委員、高齢者施設、地区部 会が連携し、買い物支援サービス 「ドライブサロン」を実施。				【対応策】 ○町内自治会、施設へ課題解決に 向けた協力依頼を行う。	
					（実施回数） <u>47</u> 回 （参加者数） <u>211</u> 人（延べ）					
		3 災害などに 備えた安全・ 安心なまち づくり	⑪ 災害時に備えた 必要な情報把握 や防災講座等の 実施	○公民館と共催で防災講座の開催。	○各町内自治会において、災害時対 応訓練を実施。	・町内自治会 ・施設 ・地区民児協 ・小学校 ・障害者施設	○各町内自治会で継続的に 取り組めた。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。	【方 針】 ○福祉的避難所の推進のため、避難所運営 活動への支援を行います。
				○町内自治会（自主防災組織）主催 の防災訓練や避難所開設訓練への支援。	○震度6以上、30人以上避難してきた 場合、集合場所（避難スペース）に 近い教室の使用と配慮が必要な人 （障害者など）は保健室へ避難でき るようするなど、マニュアルを作 成。		○主催者側の負担が大きい		【対応策】 ○引き続き、防災訓練の実施や福祉 的避難所マニュアルを活用し、災害 時に備えていく。	
				○小学校と連携して避難所マニユアルの作成。						

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和 7 年度						今後の方針及び 令和 8 年度の目標又は予定				
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策					
轟・穴川地区部会			1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 5か所 ・開催予定数 155回 ＜散歩クラブ＞（通年） ・予定箇所数 1か所 ・開催予定数 12回	＜いきいきサロン＞ ・実施箇所数 4か所 ・実施回数 43回 ・参加者数 297人（延べ） ＜散歩クラブ＞ ・実施回数 12回 ・参加者数 72人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○コロナ以降、地域内のサロン数が減少している。	○	【課 題】 ○開催内容が単調になっている。 ○高齢化の進行により担い手が不足している。 【対応策】 ○開催内容の検討と担い手確保に向け、地域へ働きかけを行う。	【方 針】 ○高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。 【目標又は予定】 ＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 4か所 ・開催予定数 59回 ＜散歩クラブ＞（通年） ・予定箇所数 1か所 ・開催予定数 12回				
＜人口・世帯数＞																
11,193人／6,091世帯																
＜町内自治会数＞																
15町内自治会																
＜高齢化率＞																
27.1%			2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組めます。 ・各町内自治会主催の敬老会への支援。（9月） ・障害者施設への運営支援（通年）	○各町内自治会主催の敬老会への支援。（9月） ○障害者施設への運営支援。（通年）	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設 ・老人クラブ	○各町内自治会の現状を把握しながら、必要な支援を行った。	○	【課 題】 ○地域の実情に沿った支援を行うため、連携団体との情報共有を行う必要がある。 【対応策】 ○関係団体間において、話し合いの場を設ける。	【方 針】 ○連携団体主催の会議等へ参加し、情報共有を図りながら協力体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ○各町内自治会主催の敬老会への支援（9月） ○障害者施設への活動支援。（通年）				
＜地域の特徴＞ ○稲毛区の南東に位置する、轟町・穴川・穴川町で構成され、新旧の戸建て、集合住宅が混在するエリア。 ○公共交通機関の利便性も比較的高く、エリア内には商業施設の巡回バスやタウンバスも運行している。 ○エリア内には教育施設（大学・高校）が集中している。																
活動事業名	今年度実績	前年度実績				3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練への支援。		○町内自治会主催の避難所開設訓練への協力。（8/24、11/9）	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・区地域づくり支援課	○各町内自治会で継続的に取り組んでいる。 ○主催者側の負担が大きい。	○	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○引き続き、防災訓練等を通じ災害時に備えていきたい。	【方 針】 ○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練などを行い防災に関する意識向上に取り組めます。 【目標又は予定】 ○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練への支援。
いきいきサロン	○	○														
子育てサロン	○	○														
散歩クラブ	○	○														
ふれあい食事	○	○														
広報紙発行	○	○														
V講座	○	○														
見守り活動	-	-														
支え合い活動	-	-														

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定			
						目標又は予定	実績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策				
稲毛地区部会			1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○ ① 地域の資源を活かした居場所づくり	○公民館等の公共施設や高齢者施設と連携して、地域の居場所づくりを創出します。	＜稲毛公民館＞ （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ボランティア講座 ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	＜稲毛一輪荘（高齢者施設）＞ （開催内容） ・いきいきサロン	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・高齢者施設	○子育てサロンは、10時～11時30分開催だが、10時30分や11時から参加する方がいるので、ゆっくり楽しんでいただくために、時間設定の変更について検討したい。	◎	【課 題】 ○子育てサロンは参加者のニーズに合った時間設定及び、おもちゃ・絵本の老朽化への対応 ○担い手の確保 【対応策】 ○終了時間の延長について検討。 ○おもちゃ・絵本は町内自治会をはじめ、地域の人に声かけを行い、状態のよいリサイクル品の提供の協力を呼びかける。 ○担い手においては、地域へ協力を呼びかける。	【方 針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、新規の参加者が気軽に参加できるよう、地域の実情に沿った活動に取り組みます。 【目標又は予定】 ○公民館等の公共施設や高齢者施設と連携して、地域の居場所づくりを創出します。			
＜人口・世帯数＞					＜稲毛公民館＞ （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ボランティア講座 ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	＜稲毛一輪荘（高齢者施設）＞ （開催内容） ・いきいきサロン									
12,655人／6,474世帯															
＜町内自治会数＞															
15町内自治会															
＜高齢化率＞															
26.0%															
＜地域の特徴＞				○ ② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 30回 ＜散歩クラブ＞（通年） ・開催予定数 1回 ＜ふれあい食事サービス＞（通年） ・会場 稲毛公民館 ・開催予定数 2回（12月・3月）	＜いきいきサロン＞ 3か所 ・実施回数 27回 ・参加者数 220人（延べ） ＜散歩クラブ＞ ・実施回数 1回 ・参加者数 11人 ＜ふれあい食事サービス＞ ・実施回数 2回 ・参加者数 50人	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・高齢者施設	○ふれあい食事サービスは今後開催予定。 その他の事業は概ね計画どおり進められた。	○	【課 題】 ○担い手の確保 【対応策】 ○担い手づくりににおいて、町内自治会の人にもっと活動を知ってもらい協力を呼びかける。	【方 針】 ○地区部会が連携団体と協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施すると共に、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。 【目標又は予定】 ＜いきいきサロン＞ ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 30回（通年） ＜散歩クラブ＞ 1回/年 ＜ふれあい食事サービス＞2回/年				
○JR稲毛駅と国道の間に位置する、新・旧の戸建て住宅が立ち並ぶ比較的高齢化率が高いエリア。 ○移動の際の主な公共交通機関としてJR、京成線・バスの利用が可能となるが、バスルートは浅間通りに限定される。 ○商業施設はJR稲毛駅周辺に集中していることから、自前の移動手段を保有しない高齢者の利便性は低い。															
活動事業名					○ ④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	○ ④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	○町内自治会や学校等と連携しながら、子どもから高齢者まで、多世代が交流できる地域イベントの開催に向け取り組みます。 ・敬老会（9月） ・夜灯し（11月） ・ふれあい広場（2月）	・敬老会（9/15） （会場）稲毛小学校体育館 ・夜灯し（11/22・23） （会場）浅間通り商店街 ・ふれあい広場（2/21） （会場）稲毛公民館		・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・公民館 ・幼稚園 ・青少年育成会	○敬老会が開催される9月は暑いため、会場となる小学校まで来るのが大変。	◎	【課 題】 ○敬老会の開催時期の検討暑さ対策。 【対応策】 ○敬老会は200人以上参加者がいるため、開催時期や暑さ対策は会場の学校と調整をしていく。	【方 針】 ○地区部会が連携団体と協力して、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・敬老会（9月） ・夜灯し（11月） ・ふれあい広場（2月）	
いきいきサロン			○												○
子育てサロン			○												○
散歩クラブ			○	○											
ふれあい食事			○	○											
広報紙発行			○	○											
V講座			○	○											
見守り活動			○	○											
支え合い活動			-	-											
			2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○ ⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○連携団体と地域イベント（敬老会やふれあい広場など）の開催に向け協力体制を構築します。 ・敬老会（9月） ・夜灯し（11月） ・ふれあい広場（2月）	・敬老会（9/15） （会場）稲毛小学校体育館 ・夜灯し（11/22・23） （会場）浅間通り商店街 ・ふれあい広場（2/21） （会場）稲毛公民館	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・スポーツ振興会 ・青少年育成委員会	○敬老会が開催される9月は暑いため、会場となる小学校まで来るのが大変。 ○各イベントは大変盛況だった。	◎	【課 題】 ○地域内の情報共有を図りイベントの内容を充実させたい。 【対応策】 ○関係団体間での話し合いの場を設ける。	【方 針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう地域住民へ働きかけると共に、連携団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ○連携団体と地域イベント（敬老会やふれあい広場など）の開催に向け協力体制を構築します。				
					○ ⑥ 地域における見守り・支え合い	○いきいきサロン参加者に対し、参加呼び掛けなどの機会を活用して見守り活動に取り組みます。	○地域内で情報を共有しながら、見守りが必要とされる方に対し、地域の実情に沿った活動に取り組みました。	・町内自治会 ・地区民児協		○いきいきサロンなどの催し物の案内は、声かけ・訪問のため、階段を上るのがしんどくて来ない人もいる。開催が午後のためか、参加が少ない。 ○交流が図れている分新規の参加者が入りづらい様子がある。 【対応策】 ○会場については、1階で行える場所があるかや時間帯等を検討する。新規の参加者については積極的な声かけを継続する。	【方 針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。 【目標又は予定】 ○いきいきサロン参加者に対し、参加呼び掛けなどの機会を活用して見守り活動に取り組みます。				

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定
				目標又は予定	実績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
稲丘地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	○各町内自治会館や小学校を活用して、地域住民が集える居場所づくりを創出します。	<各町内自治会館> 稲毛台、稲丘町、稲毛東（開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント等	・町内自治会 ・地区民児協 ・小学校 ・施設（オリーブ轟）	○いきいきサロンとして「ホットカフェ」を継続的に実施しております。	◎	【課題】 ○ふれあい食事サービスは、会食型が2年目となり、少しずつ参加者同士の会話が増えてきたように思われる。	【方針】 ○各町内自治会館や小学校を活用して、地域住民が集える居場所づくりを創出します。
				（開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス	<稲丘小学校校庭・体育館> （開催内容）いきいきサロン		○ふれあい食事サービスを再開し、開催回数を2回から3回に増やした。当初予定を上回る参加があり、好評でした。		【対応策】 ○ふれあい食事サービスは食事後も双方向で会話が楽しめるよう内容を見直していきたい。	【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント等
							上記のとおり集いの場を増やすことができた。			
		○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン>（通年） ・予定箇所数 17か所 ・実施回数 456回	<いきいきサロン> ・実施箇所数 18か所 ・実施回数 316回 ・参加者数 2,972人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○概ね予定通り、いきいきサロンは実施することができ、体操や講座などのプログラムを通し、普及・啓発をすることができました。稲毛東、ウエリス稲毛は今年度からシニアリーダー体操を開始しました。	○	【課題】 ○未実施事業の再開に向け、地域で検討を行う必要がある。	【方針】 ○連携団体などと活動内容の検討、協議を行い、健康づくり、介護予防の普及・啓発のためのサロンづくりに取り組みます。
				<散歩クラブ>（通年） ・予定箇所数 1か所 ・開催予定数 12回	<散歩クラブ> 未実施				【対応策】 ○事業再開に向け、連携団体との協議を行う。	【目標又は予定】 <いきいきサロン>（通年） ・予定箇所数 17か所 ・予定回数 468回
										<散歩クラブ>（通年） ・予定箇所数 1か所 ・予定回数 12回
		○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・各町内自治会敬老会（9月～10月） ・三色対抗競技会（10月） ・夏祭り（夏季） ・桜を見る会（3月） ・フェスティバル・文化祭（11/3） ・クリスマス会（12月）	・各町内自治会敬老会（9月～10月） ・三色対抗競技会（10/11） ・夏祭り（夏季） ・桜を観る会（3月） ・まちフェス（10月）稲毛東 ・ビッグフェス（11月）稲毛台町 ・稲丘文化祭（11月）稲丘町 ・クリスマス会（12月）稲毛台町	・町内自治会 ・地区民児協 ・スポーツ振興会 ・小学校 ・企業	○各イベントとも参加者が多く、盛況で、多世代交流の機会になったと思われます。	◎	【課題】 ○フェスティバルは、稲毛東地区においては一週間前倒しで開催。残念ながら天候に恵まれず思ったより参加者が少なかった。	【方針】 ○幅広く各世代が参加、交流できる場づくりとして、イベントの実施は一番有効な方法と考え、年間を通してイベントを実施し、多世代交流の場を設けていきます。
									【対応策】 ○地区の方々への後方活動を、もっと充実していきたい。	【目標又は予定】 ○各町内自治会敬老会、三色対抗競技会、夏祭り、桜を見る会、フェスティバル・文化祭、クリスマス会の実施
		○	⑥ 地域における見守り・支え合い	○一人暮らし高齢者等に対し、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じ、声かけによる安否確認を行います。	○いきいきサロン、ふれあい食事サービスの参加者への声掛けや支援を必要とする方への訪問など、住民同士の見守り活動に取り組みました。	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設（オリーブ轟）	○防犯パトロールやいきいきサロンなど日頃の活動を通して見守りの基盤づくりは概ねできていると思われます。	○	【課題】 ○見守り活動を実施するうえで、マンションはセキュリティが厳しく入って行きにくく苦慮している。	【方針】 ○連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。
					○防犯パトロールを兼ねて、見守り活動を実施しました。				【対応策】 ○連携団体と協力しながら、今後の対応方法について協議を行う。	【目標又は予定】 ○一人暮らし高齢者等に対し、いきいきサロンやふれあい食事サービス、防犯パトロールなどを通じて、声かけによる安否確認を行います。
活動事業名	今年度実績	前年度実績		いきいきサロン	○	○				
				子育てサロン	○	○				
				ふれあい食事	○	○				
				広報紙発行	○	○				
見守り活動	○	○		V講座	○	○				
				見守り活動	○	○				
				支え合い活動	-	-				
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり		○	⑩ 安全安心な地域づくりのための取組み	○稲丘小学校避難所運営委員会との協働	○稲丘地区自治会合同で防火防災訓練を実施。	・町内自治会 ・地区民児協 ・千葉市防災普及公社 ・稲毛消防署	○区役所主催の防災講座等にも積極的に参加し、知識の習得に努めました。	○	【課題】 ○日頃から備蓄品の点検を行い、各町内自治会でも防災訓練も実施している為、住民の意識も高いと思われる。	【方針】 ○町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を設けると共に、防災に関する公開講座への参加を呼びかけ、住民一人一人の災害時に備えた意識の向上に努めます。
				○公開講座、共同訓練による知識の習得、備えの場づくり。	○マンホールトイレ・仮設トイレ組み立て訓練：地下水くみ上げポンプ始動及び水出し訓練の実施（3/28）				【対応策】 ○引き続き、防災訓練等を通じて災害時に備えていきたい。	【目標又は予定】 ○稲丘小学校避難所運営委員会との協働。
										○公開講座、共同訓練による知識の習得、備えの場づくり。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり		○	⑪ 安全安心な地域づくりのための取組み	○地域住民の安全と防災意識を高めるために防犯パトロールを行います。（通年）	○民生委員による声掛け等での安否確認。	・町内自治会 ・地区民児協 ・青少年育成委員会 ・学校（PTA） ・警察	○防犯パトロールや登校時の見守り活動は、安定的に実施できています。	○	【課題】 ○防犯パトロールや小学校の登校時の見守り活動は、安定的に実施できています。	【方針】 ○高齢化に伴い、地域の関係が希薄となる中、地区部会が町内自治会や民児協、育成委員会、警察などと連携し、地域住民の防犯への意識を高めると共に、防犯パトロールの強化を行うなど、防犯活動に取り組みます。
					○一部の町内自治会において、防犯パトロール。（週2回）				【対応策】 ○引き続き、実施していく。	【目標又は予定】 ○地域住民の安全と防災意識を高めるために防犯パトロールと小学校の登校時の見守り活動を行います。
					○防犯ステッカーの掲示。					

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
千草台中学校地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン>（通年） ・予定箇所数 6か所 ・開催予定数 208回 <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場	<いきいきサロン> ・実施箇所数 5か所 ・実施回数 57回 ・参加者数 744人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外含 <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・UR千草台	○町内自治会だよりやあんしんケアセンターのPRにより、サロンへの参加者数が増加した。	◎	【課 題】 ○担い手の確保 【対応策】 ○担い手づくりにおいては町内自治会の人にもっと活動を知ってもらい協力を呼びかける。	【方 針】 ○高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。 【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 6か所 ・予定回数 208回（通年） <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場
<人口・世帯数>										
8,209人／4,679世帯										
<町内自治会数>										
8町内自治会										
<高齢化率>										
35.2%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・敬老会 9月中旬 千草台中学校 ・千草台団地秋まつり 11月上旬 千草台団地中央広場 ・どんど焼き（正月行事）1月上旬 千草台運動広場	・敬老会 9/27 千草台中学校体育館 ・千草台団地秋まつり 11/2・3 千草台団地中央広場 ・どんど焼き（正月行事）1/12 千草台運動広場	・町内自治会 ・地区民児協 ・あやめ台いきいきセンター ・稲毛区健康課 ・UR千草台 ・学校	○地域のイベントには子供から高齢者まで多くの方が参加し、盛況だった。 ○敬老会では多くの催し物で、参加した高齢者も楽しんでいた。	○	【課 題】 ○担い手の確保 【対応策】 ○担い手づくりにおいては町内自治会の人にもっと活動を知ってもらい協力を呼びかける。	【方 針】 ○引き続き、既存の地域活動を継続するため、連携団体が相互に協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・敬老会（9月中旬） ・千草台団地秋まつり（11月） ・どんど焼き（正月行事）1月上旬
<地域の特徴>										
○2,000世帯から成る千草台団地を中心に新旧の戸建て、マンションが立ち並び全8町内自治会で構成されているエリア。 ○主な移動手段はバスが中心となるが、千葉都市モノレールも2駅が利用可能。 ○エリア内には生鮮食料品を扱う店舗は千草台団地内の1店舗のみとなっている。 ○千草台団地の高齢化率は47%で稲毛区でも2番目に高く、エリア全体でも高い数値となっている。										
活動事業名				今年度実績	前年度実績					
いきいきサロン				○	○					
子育てサロン			-	-						
散歩クラブ			-	-						
ふれあい食事			-	-						
広報紙発行			-	-						
V講座	-	-								
見守り活動	○	○								
支え合い活動	-	-								
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○町内自治会主催の防災訓練への協力。 ○避難所運営委員会への支援。	<防災訓練>9/7（会 場）千草台団地中央広場 <防災セミナーへの参加>7月	・町内自治会 ・地区民児協 ・あんしんケアセンター ・UR千草台 ・稲毛区地域づくり支援課	○行政主催の防災セミナーにも積極的に参加し、知識の習得に努めた。	○	【課 題】 ○多くの方に参加してもらえるよう、地域の実情に沿った形の訓練内容を行う必要がある。 【対応策】 ○引き続き、防災訓練等を通じて、災害時に備えていきたい。	【方 針】 ○地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に取り組みます。 【目標又は予定】 ・町内自治会主催の防災訓練への協力。 ・避難所運営委員会への支援。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度					今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定	
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況		課題と対応策
草野地区部会			1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○ ① 地域の資源を活かした居場所づくり	○町内自治会館等において、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	＜各町内自治会館＞ （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン、 ・地域カフェ ・地域の空き家を活用したバザーの開催。	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台 ・スポーツ振興会 ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○会場までの距離や体調面により、高齢者の参加が少ない。	◎	【課 題】 ○高齢者がなかなか外に出てこない、地域のイベントに関心が少ないと感じる。 【対応策】 ○回覧などでPRし、呼びかけを継続する。イベントのタイトルを工夫するなど、参加しやすい呼びかけを行う。	【方 針】 ○いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェ、子ども（地域）食堂を実施し、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・地域カフェ ・子ども（地域）食堂	
＜人口・世帯数＞												
13,466人／6,995世帯												
＜町内自治会数＞												
20町内自治会												
＜高齢化率＞												
35.4%												
＜地域の特徴＞				○ ② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	＜いきいきサロン＞（通年） ・予定箇所数 14か所 ・開催予定数 274回 ＜散歩クラブ＞（通年） ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 36回	＜いきいきサロン＞ ・実施箇所数 13か所 ・実施回数 269回 ・参加者数 2,950人（延べ） ＜散歩クラブ＞ ・実施箇所数 3か所 ・実施回数 141回 ・参加者数 752人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外を含む	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・あやめ台いきいきセンター	○参加者が固定している事で、新規の人が参加しづらい様子があります。	◎	【課 題】 ○新規の方が参加しやすい環境づくりに取り組む必要がある。 【対応策】 ○民生委員が声かけをして、参加を促すようにしていく。	【方 針】 ○地区部会が連携団体と実施内容について検討を行い、いきいきサロン等において健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組めます。 【目標又は予定】 ＜いきいきサロン＞ ・予定箇所数 14か所 ・予定回数 274回（通年） ＜散歩クラブ＞ ・予定箇所数 3か所 ・予定回数 36回（通年）	
○エリアの中央を走る国道16号線を境に東西へまたがり、地域には旧来からの戸建て、アパート群の中に新設のマンションが建設され、新旧住民が混在している。 ○エリア内で一番世帯数の多いあやめ台団地は高齢化が急速に進行しており、住民の半数近くは高齢者となっている。												
活動事業名	今年度実績	前年度実績	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○ ④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ・敬老会（9月） ・NPO団体「地域清掃活動サポート」（通年） ・クリスマス会プレゼント作成（12月） ・子ども食堂（通年）※8・9月休み	・障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ・町内自治会主体の敬老会（9月） ・NPO団体「地域清掃活動サポート」（通年） ・クリスマス会プレゼント作成（12月） ・子ども食堂（8回）※8・9月休み ※地域の空き家を活用	・町内自治会 ・地区民児協 ・NPO ・施設	○サポートしている方からは多く時間がとられるので大変との声もあります。	◎	【課 題】 ○担い手（サポーター）の負担が大きく、なり手が減少している。 【対応策】 ○担い手確保に向け、地域へ働きかけを行う。	【方 針】 ○既存の地域イベントを継続するため、連携団体が相互に協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ・敬老会（9月） ・NPO団体「地域清掃活動サポート」（通年） ・クリスマス会プレゼント作成（12月） ・子ども食堂（10回/年）	
いきいきサロン	○	○										
子育てサロン	○	○										
散歩クラブ	○	○										
ふれあい食事	－	－										
広報紙発行	○	○										
V講座	○	○										
見守り活動	○	○										
支え合い活動	○	○										
			○ ⑥ 地域における見守り・支え合い	○独り暮らし高齢者、高齢者世帯を対象とした支援、支え合いを、町内自治会の実情に即した活動を進めます。	○一人暮らし高齢者等に対し、「安心登録カード」や「緊急医療情報キット」などによる住民同士の見守り活動に取り組みました。 また、支援が必要な高齢者等に対し、ゴミ捨てや草取りなどの生活支援活動に取り組みました。	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○利用者からの感謝の言葉が担い手のやりがいや地域のつながりづくりにつながっています。	○	【課 題】 ○つながりが希薄になっているので、支え合い活動は必要であるが、担い手がない状況。 【対応策】 ○顔見知り関係の再構築に取り組む。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った支え合い活動の実施に向け取り組みます。 【目標又は予定】 ○独り暮らし高齢者、高齢者世帯を対象とした支援、支え合いを、町内自治会の実情に即した活動を進めます。		
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり			○ ⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行います。	○町内自治会（自主防災会）が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。 ・防災講座への参加（10月） ・町内自治会ごとの防災訓練	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○地域内の防災意識は高い。 ○各町内自治会で継続的に取り組んでいます。 ○主催者側の負担が大きい。	◎	【課 題】 ○高齢者は避難訓練で避難所まで歩くことが大変なため、参加者が減少している。 【対応策】 ○高齢者の参加が増えるようなイベント要素を加えるなどの検討を行う。	【方 針】 ○町内自治会を中心とした防災訓練や避難訓練などの機会を通じて、講座を活用して住民に対して災害時における意識の向上に取り組めます。 【目標又は予定】 ○引き続き、防災訓練や講座を通じて防災に関する意識の向上に努めます。		

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度					今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定	
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況		課題と対応策
緑が丘地区部会			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	○学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施します。 また、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。（通年）	○セーフティーウォッチャーによる、小学校（宮野木小・柏台小）の登下校時の声掛け。 ○町内自治会や老人会が地域の防犯パトロール。 ○柏台交番と年に1回意見交換会を実施。	・セーフティーウォッチャー ・町内自治会 ・老人クラブ ・警察（交番）	○登下校時以外のあいさつは不審者情報もあるため、児童の反応が薄い。 ○防犯パトロールは、地域での犯罪防止の抑止力になっていると感じる。	○	【課 題】 ○セーフティーウォッチャーを引退された方の後任が見つかず、また高齢化で人数が集まらず苦慮している。 【対応策】 ○継続して協力していただける方の呼びかけを行う。	【方 針】 ○児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うためセーフティーウォッチャーや町内自治会などの関係団体と連携を図るとともに活動を通じて、住民同士のあいさつ運動に取り組みます。 【目標又は予定】 ○学校周辺及び通学路において、あいさつ運動を実施します。 また、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。
<人口・世帯数>												
21,513人／10,320世帯												
<町内自治会数>												
28町内自治会												
<高齢化率>												
31.1%												
<地域の特徴>			互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○地区連協会議、情報交換会等への参加。（通年） ○各町内自治会主催のイベント（夏祭り）等への協力。（夏季） ○地域イベント（緑ンピック）への後援・参加。	・地区連協及び各町内自治会会議への出席。 ・緑ンピックへの後援・参加（11/1） ・地区民児協との連携による、「子どもルーム」「アフタースクール」の児童との交流。 ・講座開催（10/30） 「健康長寿の心得」 緑が丘公民館 ・6団体 賀詞交歓会（1/18） 社会福祉協議会、青少年育成委員会、311地区民児協、41地区連協スポーツ振興会（宮野木・柏台小）	・町内自治会（地区連協） ・地区民児協 ・青少年育成委員会 ・スポーツ振興会 ※宮野木小、柏台小	○夏祭りは、盛況で地域のイベントとして効果があった。 緑ンピックにおいては、中・高の吹奏楽の演奏、キッズダンス、バルーンアートの制作などを通じて多くの児童・保護者が参加する中、各種連携団体との緊密な協力体制を構築できた。この協働を通じて地区部会活動の周知を図るとともに、地域全体の連携強化につながる有意義な機会となった。	◎	【課 題】 ○継続して活動をしていただける方が見つからず苦慮している。 【対応策】 ○連携団体が協力して、協力していただける方の呼びかけを継続していく。	【方 針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ○地区連協会議、情報交換会等への参加。 ○各町内自治会主催のイベント（夏祭り）等への協力。 ○地域イベント（緑ンピック）への後援・参加。
活動事業名	今年度実績	前年度実績										
いきいきサロン	○	○										
子育てサロン	○	○										
散歩クラブ	○	○										
ふれあい食事	-	-										
広報紙発行	○	○										
V講座	○	○										
見守り活動	○	○										
支え合い活動	○	○										
			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	○見守り・支え合い活動を実施する町内自治会への支援。 また、活動の拡充に向け、未実施のエリアに対して声掛けを行います。	○連携団体と協力して、高齢者に対して安否確認の訪問やゴミ出し活動を行いました。 ○地域内4か所でラジオ体操を通じた見守り活動を行いました。 ○ファミリーハイツ「見守り隊」「ゴミ出し支援活動」	・町内自治会 ・地区民児協	○町内自治会ごとの活動が活発な印象を受けた。	◎	【課 題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○地域の各団体が連携し、協力していただける方の呼びかけを継続して行う。	【方 針】 ○地域のニーズを把握し、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った活動が実施できるように取り組みます。 【目標又は予定】 ○見守り・支え合い活動を実施する町内自治会への支援。 また、活動の拡充に向け、未実施のエリアに対して声掛けを行います。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定	
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策		
301（作草部・天台） 地区部会	2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	・夏休みラジオ体操大納会（8月） 都賀小学校 校庭	・夏休みラジオ体操大納会 8/31 都賀小学校校庭	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・スポーツ振興会	○小学校（PTA）やスポーツ振 興会から、多大な協力が得ら れた。	◎	【課 題】 ○活動継続に向け、担い手の確 保を行う必要がある。	【方 針】 ○地域のイベントを実施する際、連携団 体と協力し、活動に取り組みます。	
・社協まつり（敬老会） （11月） 都賀小学校				・社協まつり（敬老会） 11/1 都賀小学校体育館		○敬老会では、学校を始め 地域のお寺からも協力が 得られた。					
＜人口・世帯数＞						○コロナ以降、新たな実施 形態が地域でも認知してもら えた。					
11,035人／5,592世帯											
＜町内自治会数＞											
16町内自治会											
＜高齢化率＞											
29.2%		○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い	○高齢者等に対してゴミ出しや買物 のお手伝いなど、身近な住民同士の支え 合い活動に取り組みます。	○301（作草部・天台）地区部会 支え合いの会 （実施内容） ゴミ出し、話し相手、軽作業等 （利用件数）211件 （利用者数）延べ1,074人	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設	○地域で受けた相談はすぐ に情報共有が図れているの で、活動がスムーズにでき た。	◎	【課 題】 ○活動継続に向け、担い手の確 保を行う必要がある。	【方 針】 ○高齢者等に対してゴミ出しや買物のお 手伝いなど、身近な住民同士の支え合い 活動に取り組みます。	
＜地域の特徴＞					○一部の町内自治会において「無事 です」ステッカーを活用した見守 り活動を実施。						【対応策】 ○担い手確保に向け、地域への 働きかけを行う。
○稲毛区の南西に位置する、中央区と 若葉区が隣接する新旧の戸建て・集合 住宅が立ち並ぶエリア。 ○商業施設も充実しており、公共交通 機関は千葉都市モノレールやバスの利用 が可能で、利便性は高い。 ○旧来からの戸建て住宅では高齢化が 進行し、独居・高齢者世帯が増加して いる。											
活動 事業名	今年度 実績			前年度 実績							
いきいきサロン	○			○							
子育てサロン	○			○							
散歩クラブ	○	○									
ふれあい食事	－	－									
広報紙発行	○	○									
V講座	○	○									
見守り活動	○	○									
支え合い活動	○	○									
	3 災害などに 備えた安全・ 安心なまち づくり	○	⑪ 災害時に備えた 必要な情報把握 や防災講座等の 実施	○避難所運営委員会に協力して避難 所開設訓練や講座を実施するなど、地域 住民に対して災害時に備えた防災に関す る意識の向上に取り組みます。	○防災講座の開催 都賀公民館 7/6「地域の防災対策について」 講師：千葉市防災対策課	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・稲毛区地域づくり支援課 ・公民館	○防災に関する知識の向上 に向け、避難所運営委員会か ら区地域づくり支援課へ防災 講座開催に向けて働きかけを 行った。	◎	【課 題】 ○活動継続に向け、連携団体と のつながりや情報共有を行う必 要がある。	【方 針】 ○地域住民に対して災害時に備えた防災 に関する意識の向上に取り組みます。	
					○避難所開設訓練の実施（11/9） 都賀小学校、都賀中学校、 都賀公民館、千草台東小 ※各避難所の特性に合わせた訓練 を実施。						【対応策】 ○更なる連携が図れるよう体制 の構築に取り組んで行きたい。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度							今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定																
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策																		
緑・黒砂地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	○公民館や公園などの地域資源を活用し、高齢者や子育て世代の居場所づくりに取り組みます。	＜黒砂公民館＞ ※R7.10～R8.2まで改修工事のため休館 （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	・町内自治会 ・地区民児協 ・公民館 ・企業	○地域の公園で行われる「ラジオ体操」は天気にも恵まれ予定通り開催した。	○	【課 題】 ○特になし。 【対応策】 ○順調にすすんでいるため、引き続き実施していく。	【方 針】 ○活動の継続に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体などと協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。 【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント ・新たに「なごみカフェ」（いきいきサロン）を開催																	
＜人口・世帯数＞				9,489人／5,382世帯	＜町内自治会数＞	6町内自治会	＜高齢化率＞		21.0%	＜地域の特徴＞																	
○国道357号線から内陸に入った高台に位置しており、落ち着いた住環境で、一戸建てを中心とした住宅が立ち並んでいる。 ○移動の際は、京成線の「みどり台駅」やJR総武線の「西千葉駅」利用可能な範囲にある。 ○隣接する大学の学生が多く居住していることから、エリア全体の高齢化率は高くない。																											
活動事業名				今年度実績	前年度実績	いきいきサロン	○		○	子育てサロン	○	○	ふれあい食事	○	○	広報紙発行	○	○	V講座	○	○	見守り活動	○	○	支え合い活動	-	-
○				③	あいさつから始まる地域との関わり	○通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動に協力し、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。（通年）	○登下校時のあいさつ運動に協力。		・町内自治会 ・学校（PTA） ・セーフティーウォッチャー	○地域内でのあいさつ運動が浸透している様子がうかがえる。	○一部のエリアにおいてはあいさつ運動の浸透が不十分なため、連携団体と協力して取り組む必要がある。	【課 題】 ○一部のエリアにおいてはあいさつ運動の浸透が不十分なため、連携団体と協力して取り組む必要がある。 【対応策】 ○該当エリアの掲示版などを活用し、活動についての周知を図る。	【方 針】 ○連携団体等と協力し、あいさつ運動の拡充を図るため、地域イベントや広報紙を通じて、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組むと共に担い手確保に向け、見守り隊の募集を行います。 【目標又は予定】 ○通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動に協力し、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。														
○		④	地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	○幅広い世代が参加できる「福祉バザー」や「納涼祭」「敬老会」等、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。 ・納涼祭（夏季） ・敬老会（9月～10月） ・福祉バザー（11月）	・納涼祭 8/24 ・敬老会 9月～10月 ・福祉バザー ※福祉バザーは公民館改修工事のため中止	・町内自治会 ・地区民児協 ・公民館 ・企業	○黒砂公民館で開催される地域イベント（福祉バザー）は改修工事により中止となった。 ○納涼祭は、役員の高齢化に伴い、開催規模を縮小したが、そのなかでも工夫し、とても盛況だった。	○	【課 題】 ○町内自治会が解散したエリアの高齢者への対応が難しいと感じる。 【対応策】 ○該当エリアの掲示版などを活用して、活動についての周知を図っていきたい。	【方 針】 ○既存のイベントを継続するため、各種活動団体が協力し、開催方法を検討するなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・納涼祭（夏季） ・敬老会（9月～10月） ・福祉バザー（11月）																	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり		○	⑫	安全安心な地域づくりのための取組み	○自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。 ・高齢者等への声かけによる安否確認。 ・防犯パトロール ・「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示。	○民生委員による声掛け等での安否確認。 ○一部の町内自治会において防犯パトロール。（週2回） ○防犯ステッカーの掲示。	・町内自治会 ・地区民児協	○掲示している防犯ステッカーが古くなっているものがあるので更新できると良い。	○	【課 題】 ○地域みまもり隊の再検討。 ○町内自治会が解散したエリアの高齢者への対応が難しいと感じる。 【対応策】 ○地域見守り隊の協力に向け地域へ働きかけを行う。	【方 針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。 【目標又は予定】 ○自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。 ・高齢者等への声かけによる安否確認 ・防犯パトロール ・「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示																

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和7年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度						今後の方針及び 令和8年度の目標又は予定	
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策		
小中台西地区部会			2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	③ あいさつから 始まる地域との 関わり	○防犯パトロールを兼ねたあいさつ ・声かけ運動の拡充を図るとともに、地 域のイベントや広報媒体等を通じて、あ いさつ運動が地域へ浸透するよう取り組 みます。	・町内自治会主体の防犯パトロール ・町内掲示板へあいさつステッカー の掲示 ・登下校時のあいさつ運動 （園生小、小中台小、柏台小、 小中台南小） ・あいさつ標語（16作品）の展示 （10/26～30 小中台公民館）	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校（PTA） ・セーフティウォッチャー ・公民館	○防犯パトロール隊、セー フティーウォッチャー、 あいさつ声かけ運動は概ね順 調に進んでいる。	○	【課 題】 ○ステッカーが色落ち、劣化 しているものが多い。 【対応策】 ○4・5月で新しいステッカー と貼り換える。	【方 針】 ○防犯パトロール強化、「あいさつ声 かけ運動」を住民がもっと周知できるよ う取り組みます。 【目標又は予定】 ○ステッカーを多くの人の目に触れる ように配布・掲示します。	
＜人口・世帯数＞													
21,794人／10,572世帯													
＜町内自治会数＞													
18町内自治会													
＜高齢化率＞													
25.2%				○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	○イベントを企画・実施する他、自 治会単位で開催する祭やイベントなどを 通じて住民同士が交流できる場づくりに 取り組みます。	・夏祭り（7～8月） ・小中台東西社協まつり 10/26 小中台公民館 来場者 105人 ・茶話会 3/8 小中台公民館 来場者 222人	・町内自治会 ・地区民児協 ・商工会 ・学校	○各自治会で夏祭り、納涼 祭が実施され、地域の活 力が感じられた。 ○社協まつりは、若い世代 （中・高生）の参加が少な く感じた。	○	【課 題】 ○社協まつりは、中高生の参 加が少なかった。 【対応策】 ○ボランティア等で参加を 呼び掛ける。	【方 針】 ○地域の方々にイベントを周知しま す。 【目標又は予定】 ○広報活動に力を入れる。	
＜地域の特徴＞													
○JR稲毛駅周辺を中心として、戸建て と大型集合住宅が混在する小仲台1丁目 から9丁目のエリア。 ○駅周辺のマンションには若い世代が 多く居住しているが、駅から距離のあ る旧来からの集合住宅では高齢化が進 行している。													
活動 事業名	今年度 実績	前年度 実績											
いきいきサロン	○	○											
子育てサロン	○	○	○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い	○一人暮らし高齢者等に対して日常 的な声かけや、いきいきサロン、ふれあい 食事サービスの参加者・利用者へ、安 否確認等による見守り活動に取り組みま す。	○高齢者見守り活動は4町内自治会 が実施し、それぞれ地域の実情に応じた 見守りに取り組みました。 またいきいきサロン、ふれあい食 事サービスを通じて安否確認等、見守り 活動に取り組みました。 ・いきいきサロン （7か所 69回、約900人） ・ふれあい食事サービ ス（8回 126食）	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー	○災害時の見守り体制は整 いつつあるが、コロナ禍以 来、平常時の見守りが少し希 薄になっている。	○	【課 題】 ○高齢化率の高い地域と低い 地域の活動の落差がある。 ○ふれあい食事サービスの利 用者が少ない。 【対応策】 ○平常時の見守り強化	【方 針】 ○高齢化率の高い地域の見守りを強化 します。 【目標又は予定】 ○援護者（見守り活動をする人）を確 保する。 ○ふれあい食事サービス利用者を増や す。		
散歩クラブ	-	-											
ふれあい食事	○	○											
広報紙発行	○	○											
V講座	○	○											
見守り活動	○	○											
支え合い活動	○	○											